学校番号	３２４

平成３１年度　国語科

教科	国　語	科目	古典Ｂ	単位数	２	年次	２
使用教科書	新編　古典Ｂ　改訂版（大修館書店）						
副教材等	古典文法ワークノート　（第一学習社）						

１ 担当者からのメッセージ

・２年生では古典に親しむ姿勢を養ってもらいたいと考えています。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読み、ノート作りをしてください。授業後は毎時間復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２ 学習の到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに，ものの見方，感じ方，考え方を広くし，古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。また、自分の考えを発表することで表現力も身に付ける。

３学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b：話す・聞く能力	c：書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）			記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	古文に親しむ(説話)	教材 『今昔物語集』 「安倍晴明と百鬼夜行」 『御伽草子』 「一寸法師」	○			◎	○	a：登場人物や出来事、心情を読み取ろうとしている。 d：内容を的確に読み取る。 e：古語の意味について理解している。『今昔物語集』と『陰陽師』の比較を通して、古典文学作品が現代文学にどのような形で受容されているかを知る。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:行動の観察及び記述の確認
	古文に親しむ(物語)	教材 『竹取物語』 「かぐや姫の昇天」	○			◎		a：登場人物や出来事、心情を読み取ろうとしている。 d:かぐや姫の心情とその変化について的確に読み取っている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査
	日記を味わう	教材 『土佐日記』 「門出」 『更級日記』 「あこがれ」	○			◎	○	a：どのような旅について記されているか読み取ろうとしている。大きな声で音読している。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e：古語について理解している。作者の執筆意図及び文学史的意義を理解している。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:定期考査
	和歌に親しむ	教材 『百人一首』				◎	○	d:和歌が詠まれた当時の生活様式や歌人の置かれた状況、心情を読み取る。 e：古語や和歌の修辞について理解し、適切に口語訳をしている。	d:記述の確認及び定期考査 e:定期考査
2学期	随筆を味わう	教材 『徒然草』 「今日はそのことをなさんと思へど」 「丹波に出雲といふ所あり」	○			◎	○	a：登場人物や出来事、心情を読み取ろうとしている。 d：場面を読み取り、台詞の発言者を的確に押さえられる。 e：古語の意味について理解し、適切に口語訳をしている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:定期考査

	漢詩に親しむ	教材 「絶句」 「竹里館」 「贈別」	○			◎	○	a：詩中に描かれた心情を読み取ろうとしている。 d：対句を指摘し、その表現効果について考えている。 e：句法、詩形、押韻を確認しつつ訓読し、現代語訳している。	a:行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e:定期考査
	物語を味わう	教材 「史記」	○			◎	○	a：大きな声で音読している。 d：登場人物を把握し、心情を理解する。 e：語彙及び句法を正しく理解している。	a:行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e:定期考査
3学期	物語を味わう	教材 『好色五人女』 「お七と吉三郎」 『曾根崎心中』 「道行」	○			◎	○	a：登場人物や出来事、心情を読み取ろうとしている。 d：内容を的確に読み取る。 e：古語や当時の文化について理解している。	a:行動の観察 d：記述の確認及び定期考査 e:定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。